



しゃきょう 社協だより

●発行 社会福祉法人三宅島社会福祉協議会 〒100-1211 三宅島三宅村坪田 3053 電話 04994-8-5888



2020年 新春のご挨拶

三宅島社会福祉協議会 会長寺本恒夫

皆さんお揃いで新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。今年もよろしくお願い申し上げます。

今年は三宅島社会福祉協議会法人化52年目になります。結成当時の先輩方の目指した理念を忘ることなく、村民の皆さんのお援隊として役職員一同一丸となって進めてまいります。

さて、最近は人生100歳時代と言われています。国が1963年に100歳以上の人口の調査をはじめました。この年には153人でした。しかし、昨年の調査では100歳以上の方が71,238人となりました。このように世界に誇る長寿社会を築いたのは、医療技術の進歩や福祉の充実、食糧事情などとともに、戦後の憲法下で戦争がなかったこともあげられると思います。三宅島社会福祉協議会では、毎年100歳を迎えた方にお祝いをお渡ししています。昨年も1名の方にお渡しました。三宅村のような2,400人規模の自治体でも毎年100歳を迎える方がいらっしゃることは大変喜ばしいことだと思います。

そこで三宅村の高齢化率(65歳以上)はというと、全国の高齢化を先取りしたような形で、平成31年1月で、39.44%となっていて新島村とほぼ同じです。

かつて、私たちの子どもの頃は、子どもが多く5~8人兄弟なんて珍しくありませんでした。親・子・孫3代が一緒に暮らしていました。従って、親の介護を子どもや孫がすることは極普通でした。現在は少子化が進むと同時に社会構成も変わり、子どもたちは成人すると親元を離れて就職のために都会に集中するので、村に残るのは老夫婦、独居の高齢者という現状です。高齢化が進むと今まであった地域のいろんな形での支え合いがだんだん弱くなっています。

ここで社会がどのように関わっていくかが求められています。三宅島という社会で「共に支えあい、元気に生きる」ということです。そのことを目にして、行政でも社協でも各地域の老人クラブでも、それぞれ工夫して「サロン」「カラオケ」などが行われています。昨年は地域を越えて老人クラブ連合会が復活しボッチャ大会やカラオケ交流会などの行事が行われました。地域間の交流もでき、皆さん楽しいひと時を過ごしました。

しかし、これら行事に参加できない方が多くいます。これらの方々に対して、社会福祉協議会では訪問介護事業を行っています。この事業は社会福祉協議会の重要な事業です。しかし、現状では土・日・祭日、年末年始、ゴールデンウィークなどの長期・短期の休みの時に、訪問介護は行っておりません。今のヘルパーの人数ではご要望に応えられないからです。ここは関係機関の連携とご協力をいただき、ヘルパーの確保をし、村民の皆さんのニーズに対応できるよう目指してまいります。本年もよろしくお願ひいたします。



1月17日は防災とボランティアの日

毎年1月17日は「防災とボランティアの日」です。日付からお分かりの通り、1995年1月17日に発生した阪神・淡路大震災に因んで制定されました。あの震災では政府や行政の対応の遅れが指摘された一方で、学生を中心としたボランティア活動が活発化し、「日本のボランティア元年」とも言われるようになりました。これをきっかけに、ボランティア活動への認識を深めることと、災害への備えの充実を目的として、「防災とボランティアの日」が制定されたのです。阪神・淡路大震災では、発災から3か月で延べ190万人もの自衛隊員が救援活動を行ってくれました。災害時の急を要する、また危険を伴う活動には消防隊員や警察官、地元の消防団や医療関係者が活動を行いますが、その後の被災された方々の生活を支えるのがボランティアのみなさんです。当時のボランティアは1997年までの2年間で167万人と推計されています。（いずれも兵庫県発表の数値）細やかに、一人ひとりのニーズに対応し、迅速に、笑顔で、互いに励まし合う。全国からやってくるボランティアの方々の活動がどれだけ被災された方々を勇気づけたかはみなさんもご存知のことでしょう。この震災をきっかけに沢山のボランティア活動団体が誕生しました。NPOとして現在も活動を続けている団体もあります。この団体の参加者はボランティア体験そのものに、自身の「生きがい」を見出した方々が多くいます。それは「社会貢献」こそが「幸福」につながるボランティアの精神そのものと言えましょう。あれから25年、私たちの国は多くの災害にあいました。その度「○△社協が立ち上げたボランティアセンター」と報道されます。このボランティアセンター（略称ボラセン）も阪神淡路大地震を契機に誕生、組織化されました。ボラセンとは被災者一人ひとりが何に困っているのか、何が必要なのかを明らかにし、そこにボランティアを当てはめるというマッチング（相応させる）役割を担います。私たち社協は地域に根ざした実践を行うことで、それぞれの方の必要とすることを把握し、顔の見える支援ができます。三宅島社協もいざという時に備え対応できる力を発揮できるよう、今後も地域福祉の実践を行ってまいります。政府の地震調査委員会は、日本周辺の海底や全国の活断層で想定される地震の発生確率について、毎年1月1日の時点で計算し公表しています。このうち、南海トラフで想定されるマグニチュード8から9の巨大地震については、今後30年内に発生する確率は、これまでの「70%程度」から「80%」に引き上げられました。専門家は「30年内に80%という発生確率は、『あす起きてもおかしくない』ことを意味している。できる備えを進めなければならない」と警鐘を鳴らします。関東の地盤は年間最大2センチのペースで北に押されていて、地震のエネルギーとなる「ひずみ」が、今この瞬間もたまり続けています。

みなさんも日頃から災害に対する備えを…。



赤い羽根募金・歳末たすけあい運動へのご協力ありがとうございました！

10月より開始していた赤い羽根募金、12月より開始していた歳末たすけあい運動につきまして島民の皆さんから温かいお気持ちを頂きました。具体的な金額などに関しましては2月号に掲載させていただきます。まずは島民のみなさんから頂いた温かい気持ちにお礼をお伝えしたいと思います！本当にありがとうございました！

福祉バザー用物品寄付のお願い

毎年島民の皆さまにご好評いただいている「福祉バザー」を来年度に開催いたします！これに伴い島民の皆さまからの物品寄付をお願いしたいと思います。皆さまからの物品寄付があってこそ開催できる「福祉バザー」です。



ご家庭で使わなくなった食器や家具などがございましたら三宅島社協早川（8-5888）までご連絡ください。大きな家具でも社協職員が受け取りに伺いますのでご安心ください！福祉バザーで売り上げたお金は全額三宅島の福祉のために役立たせていきます。販売が難しいと判断したものにつきましてはお受け取りできませんのでご容赦ください。

すぐに売れるもの →家具（タンス・テーブル・椅子）・電化製品・新品の食器類

新品の鍋等の台所用品・ベビーグッズ・毛布・トランク

カラーボックス など

受け取り出来ないもの →一部破損している家具・和ダンス・動かない電化製品

手作りの手芸品・衣料品・布・使用済のタオル、シミのある

布製品 など

男の料理教室開催決定！

令和2年2月に男の料理教室を開催します！単身の方・料理を作ったことがない方・



簡単な料理のレシピを知りたい方など…男性ならだれでも参加OKです！予約制となりますので、お気軽に社協までご連絡ください！詳細は2月号にてお知らせします！

ちけん通信

Vol.10 家族が同居している場合でも「ちけん」は使えるの？

Q.

家族のことも「ちけん」で
相談にのってもらえますか？

そうだ！

社協の地権に
相談して

みよう！

皆さん、あけましておめでとうございます！地権担当のヤナガワです。今年もご相談ありがとうございます！一緒に暮らす家族が心配なこともありますよね。近しい関係だからこそ話せることもありますが、なかなか話しくいことがあると思います。相談いただいた内容については守秘義務を守り、必要であれば相談いただいた方へ確認した後、ご家族とお話しできるようなお手伝いをさせていただければと思います。ささいな心配ごとの相談が大きな困りごとの解決に繋がることがあります。お気軽に「ちけん」までご連絡ください！



「地権（ちけん）」では、判断能力に心配がある方を対象として、福祉サービスの利用に関する相談に応じ、助言や情報提供を行う事で本人による選択や契約を支援する事業です。

上記のような心配ごとや不安ごとがございましたら三宅島社協地権担当：柳川（やながわ）【直通 8-5883】まで！

高齢者ふれあい会食会



1月メニュー

お正月

特別

御膳

会 場 伊豆避難所
時 間 10:00～
参 加 費 500円
締 切 1月9日
申 込 三宅島社協
(8-5888)

1月18日（土）開催！



1月の会食会ではお正月特別御膳をご用意しています！おせち料理を皆さんでワイワイ食べませんか？会食会では季節に合わせたお料理を調理ボラさんが提供してくれます！この機会に是非参加してください！

会食会の写真はボランティアの島崎広光さんの提供です。いつも素敵な写真提供をありがとうございます！

認知症・転倒予防のための木曜サロン

日 時：毎週木曜日 9:30～13:30

場 所：神着老人福祉会館

内 容：会場設営・参加者との話し相手などなど

問 合：めぐりケアセンター（前田）

☎090-2655-1529

認知症・転倒予防のための阿古サロン

日 時：毎月第1・3火曜日 9:30～11:45

場 所：阿古福祉会館（旧阿古保育園）

内 容：会場設営・参加者との話し相手などなど

問 合：包括支援センター☎5-1832

認知症・転倒予防のための伊豆サロン

日 時：毎月第2・4水曜日

10:00～13:15

場 所：伊豆老人福祉会館

内 容：会場設営・参加者との話し相手などなど

問 合：包括支援センター☎5-1832

ボランティア情報
報

坪田常盤クラブ（月曜サロン）

日 時：毎週月曜日 9:00～11:30

場 所：坪田福祉会館

内 容：会場設営・参加者との話し相手などなど

問 合：堀井副会長☎090-4541-9277

社協 1月高齢者ふれあい会食会

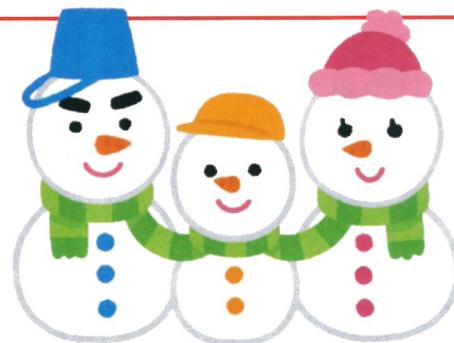
日 時：1月18日 9:30～14:30

場 所：伊豆避難施設

内 容：昼食調理・参加者サポート

問 合：社協 石塚☎8-5888

締 切：1月9日（木）※要予約



三宅島社協では、ボランティアを必要とする個人・団体などからの相談・受付をしております。また島内でボランティア活動を行う方につきましてはボランティア保険料の一部助成を行っています。お気軽にご連絡ください。

障がい福祉 いぶきナビより

開所日時：月・水・木(10:00～15:00)

三宅村地域活動支援センター「いぶき」は障がいのある方の働く作業場と楽しく過ごせる場所です！

1月のいぶき活動



【緑化活動】1月 8・15・22・29日（全水曜日）

【外出支援】1月 16日

毎月1度の工賃支給日に島内の商店で買い物をします！



先日、緑化の活動でプランターの掃除をしました。乾いた土を雑巾できれいに拭き取り、新しいお花を植える準備をしました。何を植えるかはこれからのお楽しみです。

ご寄附のお願い

ご自宅に未使用のタオルや着物生地（反物）は眠っていませんか？いぶきでの創作品は皆様にご寄付いただいたものも使用し、創作しております。わらじ等に使用させていただきます。ご自宅で使用しないものをぜひご寄付いただけたら幸いです。よろしくお願ひいたします。



三宅島カラオケ交流会が 行われました！

令和元年11月26日（火）に坪田リスタホールにて三宅島老人クラブ連合会主催の「三宅島カラオケ交流会」が行われました。当日は5地区の老人クラブの方が集まり、それぞれ、自慢の声を披露されていました！この日はとても寒かったのですが、リスタホールの中は、参加者の皆さんのが熱気でリスタホールにだけ夏が再来したかのようでした！



へん しゅう こう き 編 集 後 記

あけましておめでとうございます！皆さん年末はどのように過ごされましたか？我が家は去年、バタバタしていて本当にあっという間に過ぎ去ってしまった1年でした。2020年がどんな年になるのか、今からワクワクしています。今年、2020年も皆さんにとって良い年となるよう願っています…。今年も三宅島社協と社協だよりをよろしくお願ひいたします♪

ちいき けいじばん 地域の掲示板



三宅島椿会

三宅島椿会では新しい仲間を募集しています！
ただ楽しく踊ればそれでよし！踊りが苦手でもOK！
年齢、地区、なんにも問いません！踊りたいならそ
れでOK！愉快な仲間と週に1回、仲良くエクササイ
ズしてみませんか？見学いつでもOKです！

時 間 第2・4水曜日 19:00～

場 所 坪田福祉会館（旧坪小）

問合せ 090-5399-0604 長久保

三宅島巨樹の会「やどり木」からのお知らせ

1.神着地区巨樹調査会

1月29日（日）9:00～七島信組駐車場集合

2.坪田林道蘇ヶ森巨樹ウォーク

日本1の「椎の木」のご案内です！

2月02日（日）9:00～

坪田林道入口より1.5キロ地点集合

※歩きやすい靴。汚れても良い服装でご参加ください！

問合せ 090-6875-5627 佐久間

風のカフェ

（認知症等介護者のためのカフェ）

日 時 1月11日（土）9:00～11:30

風のカフェではご自宅で介護に向き合われている
方や、これまで介護を経験された方々のお越しを
お待ちしています！また、介護を受けられている
ご家族の方もご一緒にご参加いただけます！

問い合わせ 風の家 5-1470

役 場 5-0904

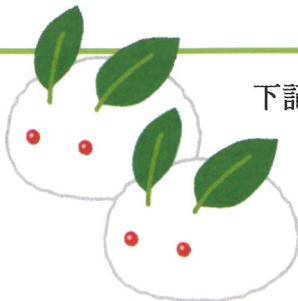
社協だよりでは地域で活動されているサークルや住民活動のお知らせを「地域の掲示板」として
お知らせするお手伝いをしています。掲載希望の方は社協（0-5888）までご連絡ください。

しゃきょうのちえぶくろ ～春の七草いえるかな？～



1月7日は「七草がゆ」をいただく日です。早春にとれる七草は邪氣をはらうといわれており、七草入
りのおかゆを食べて1年の無病息災を祈ります。年末年始でごちそうを食べすぎて疲れた胃を休める
のにもいいそうです。春の七草→セリ・ナズナ・ゴギョウ・ハコベラ・ホトケノザ・スズナ・スズシロ

寄付金のお知らせ



下記の方から三宅島社会福祉協議会へご寄付頂きましたのでご報告いたします。

伊藤ソヨ子さまより 亡夫 智文さまの香料より 訪問介護事業のために
菊地 桂さまより 亡妻 容子さまの香料より 組織運営事業のために

マイ・ストーリー

あなただけの物語、聞かせてください。

第27回
土屋好孝さん
の物語

人との付き合いを大切にしたいと思ってるんだよ。

昭和10年、3人兄弟の末っ子として三宅島伊豆で生まれた土屋好孝さん84歳。

父は1歳半の時に亡くなかった。母は女手ひとつで3人を育ててくれた。小さな頃から体が弱く、1番上の姉が自分を背負って伊豆から神着の病院までよく連れて行ってくれたという。母と姉たちに大切に、大事に育てられた子どもだった。子どもの頃から水が怖かった。海ももちろん怖かった。小学3年生の時に福島に戦争疎開した。川が流れている様子や水たまりを見ると怖くてしょうがなかった。体が弱かった為、母から海に入るのを禁止されていた。中学2年生の時に初めて5mを泳いだ。その後、体が弱かったのがウソみたいに成長した。小さくて弱かった体がみるみる大きくなった。20歳の時に初めて天草漁をした。他の人が担ぐほど天草を採っているのに、自分は片手でちょっとつまめるくらいの天草しか採れなかっただ。2年、3年と続けていくうちに徐々に採れるようになっただ。そして、伊豆で1番の天草採りの名人になった。体が弱かった小さな小さな男の子は三宅島の自然と母と姉の愛情で強くたくましく育った。働くことが大好きな土屋さんは天草採りだけでなく、山の仕事も大好きだった。どんな仕事だってやった。仕事を断ることはまずなかった。避難以外で他のところへ住んだことはなかった。その理由を聞くと「三宅島が大好きだし、母と姉を置いて他の場所へ行く事なんてできなかっただね。」と言った。昭和34年に妻である三保子さんと結婚したし、3人の可愛い女の子を授かった。「自分にはできすぎた妻だったよ。」17年前に三保子さんは他界されたが、三保子さんを今でも想っているのがわかるような言葉だ。結婚25周年記念から毎年家族で旅行に行っている。もちろん、三保子さんの想いも連れて…。土屋さんはスポーツも得意でバレーや野球、マラソンもやった。55歳の時に第4回伊豆七島・小笠原諸島駅伝大会に出場した。当時勤労福祉会館で働いていたのでそこから観光ホテルまで2.3度走る練習をするくらいだった。本番当日、自分にたすきが来た時に三宅島チームはビリから2番目だった。土屋さんは快走を見せ、7人をごぼうぬきした。他の参加者は驚いて土屋さんにトレーニング方法を聞いたという。「人との付き合いを大切にしたいと思っているんだよ。」お話を聞かせて頂いて、



伊豆在住の土屋さん

家族や友だち、周りの方をとても大切にされているのがわかりました。とてもステキなお人柄で穏やかで優しく、なんといっても丁寧に取材に応じてくださったのが印象的でした。伊豆の「天草採り名人」は大きな手のひらで天草を採り、家族を守り、そしてとびっきりの幸せをつかんだ「幸せ採りの名人」でした。無理なお願いも快く受けて頂き本当にありがとうございました！誰かを大切に想う気持ちの大切さを教えるようなマイストーリーと素敵なお取材の時間ありがとうございました！



結婚25周年旅行の時の家族写真

みやけしま社協だよりは5月号(163号)より「印刷工房めじろ作業所」さんで印刷・製本していただいている！

特定非営利活動法人羽ばたく会 身体障がい者の社会参加と活動の場 印刷工房めじろ作業所

〒182-0022 東京都調布市国領町1-3-1 調布セントラルアパート1階 TEL/042-443-1633 FAX/042-443-1632